

授業科目名	英語 R・W	開講時期 1 年次後期	単位数 (時間) 1 単位 (30 時間)	必修/選択 選択必修
担当教員名 廣渡太郎	担当教員所属/研究室 看護学部/2 号館 3 階 366 研究室		オフィスアワー 毎週水曜日 10:30~12:30	
授業の 目的・目標	<p>目的 英語プレゼンテーションとライティングスキルの基礎力習得</p> <p>目標 情報収集のためのリーディングや自己表現のためのライティングは、国際社会での活動に欠かせないスキルである。本講座では、前期に培った英語力に磨きをかけるリスニングとスピーキングの演習に加え、プレゼンテーションの原稿作成と発表スキルの基礎訓練を行う。同時に、グループ単位で行うプレゼンおよびジャーナルライティングにも挑戦し、英語でのコミュニケーションに必要な基本スキルの養成と強化をめざす。</p>			
主な授業内容 (担当教員)				
<p>第 01 回 : CLASS GUIDANCE クラスガイダンス</p> <p>第 02 回 : The heart of Japanese language One Piece & Kimini Todoke</p> <p>第 03 回 : Describing recent activities How was your weekend?</p> <p>第 04 回 : Talking about places you visit Are you going snowboarding?</p> <p>第 05 回 : Presentation Skills 1 How to write a paragraph</p> <p>第 06 回 : Presentation Skills 2 Presentation Structure</p> <p>第 07 回 : MOVIE THEATER "The Karate Kid" Part I</p> <p>第 08 回 : MOVIE THEATER "The Karate Kid" Part II</p> <p>第 09 回 : Presentation Skills 3 Introduction</p> <p>第 10 回 : Presentation Skills 4 Body</p> <p>第 11 回 : Presentation Skills 5 Conclusion</p> <p>第 12 回 : Holiday Season Special Lesson "A Charlie Brown Christmas"</p> <p>第 13 回 : Review 復習</p> <p>第 14 回 : Group Presentation グループ・プレゼンテーション</p> <p>第 15 回 : Group Presentation グループ・プレゼンテーション</p> <p>授業は、テキストによる“会話演習”“語彙習得”“文法理解”、および、毎回授業の始めに実施するリスニングの小テストで構成される。同時に、課外ではグループ単位でジャーナルライティングを行い、継続して英語で自己表現するための基礎力を養う。</p>				
成績評価方法	出席点 (授業への参加度を含む)、平常点 (課題提出・積極性等)、リスニング小テスト、学期末に行うグループ・プレゼンテーションの成績による総合評価。			
テキスト	別途指示する。			
参考文献	授業時に指示する。			
履修にあたっての留意点	英語力の養成は継続して学習することが大前提である。したがって、遅刻・欠席は出席点減点の対象となり、欠席回数が履修規定を越えた受講生は、事由の如何に関わらず「D」の成績評価となるので注意すること。			
備考	毎回の授業時に必ず英和辞書 (電子辞書可) を持参すること。 参照先 URL :			

授業科目名	中国語 R・W	開講時期 2年次後期	単位数(時間) 1単位(30時間)	必修/選択 選択必修
担当教員名 張雅麗	担当教員所属/研究室 非常勤講師		オフィスアワー	
授業の 目的・目標	目的 目標			
主な授業内容(担当教員)				
<p>※授業計画等詳細は、後日お知らせします。</p>				
成績評価方法				
テキスト	「中国語入門ポイント45」山下輝彦(三修社)			
参考文献				
履修にあたっての留意点				
備考	参照先 URL:			

授業科目名	フランス語 R・W	開講時期 2年次後期	単位数(時間) 1単位(30時間)	必修/選択 選択必修
担当教員名 辻野稔哉	担当教員所属/研究室 非常勤講師(秋田大学国際コミュニケーション講座)		オフィスアワー	
授業の 目的・目標	<p>目的 前期に引き続き、フランス語の基本的な仕組みを理解することを目的とする。</p> <p>目標 1) フランス語の綴りを正確に読むことができるようになる。 2) 簡単なフランス語を聞き取り、書くことができるようになる。 3) 簡単なフランス語の文章を理解できるようになる。 4) フランス語を通じて、フランス文化への興味を深める。</p>			
主な授業内容(担当教員)				
<p>1回 ガイダンス 2回~3回 不規則動詞について 4回~5回 複合過去について 6回~7回 目的語、代名動詞 8回~9回 半過去、大過去 10~12回 単純未来 13~14回 条件法 15回 試験</p>				
成績評価方法	期末に行う試験とレポートによって成績を評価します。			
テキスト	「カドラーージュ」熊本哲也・辻野稔哉(駿河台出版社)			
参考文献	教室にて指示。			
履修にあたっての留意点	語学の授業ですので、全15回の出席を前提に試験を行います。ある程度の予習・復習が必要です。			
備考	学習への積極的な取り組みを期待します。 参照先 URL:			

授業科目名	国際関係論	開講時期 1年次後期	単位数(時間) 1単位(30時間)	必修/選択 必修
担当教員名 井上忠男	担当教員所属/研究室 看護学部/1号館3階研究室20		オフィスアワー 毎週水曜日 13:00~15:00	
授業の 目的・目標	<p>目的 グローバル世界の諸問題と私たちの繋がりを理解し、共生のためのあり方を考える。</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルリズムの概念と相互依存の構図を理解する。 ・国家の安全保障と人間の安全保障の概念について理解する。 ・UNミレニアム開発目標と人間の安全保障について理解する。 ・国際社会の普遍的価値としての人権、人道の概念、国連憲章の精神を理解する。 ・国際協力の理論と実際を理解する。 ・赤十字などの人道機関(NGO)の役割と人道支援の課題について理解する。 ・上記の考察を通じて、国際社会の普遍的価値や秩序を理化学し、グローバル世界で生きるための共生、共存のあり方を考察する。 			
主な授業内容(担当教員)				
<p>第一回 : 現代世界と国際関係 第二回 : グローバリズムとは何か: 相互依存の構図と私たちの暮らし 第三回 : 国際社会の平和と安全(1) 国家の安全保障と安全保障体制 第四回 : 国際社会の平和と安全(2) 戦争のルールと戦争犯罪 第五回 : 国際社会の平和と安全(3) 冷戦後の戦争と犠牲者 第六回 : 国際人権法と国際人道法~人間の尊重・保護と国連憲章 第七回 : 人間の安全保障(1) それは何を問題にするか: MDGs 第八回 : 人間の安全保障(2) 貧困、子ども、医療と健康、人権とMDGs 第九回 : 人間の安全保障(3) 地球環境問題、世界経済・金融と私たちの暮らし 第十回 : 国際協力の実際: 赤十字の国際救援と開発協力について 第十一回 : 国際救援のシステム: 赤十字救援要員の報告から 第十二回 : 国際社会の普遍的規範とは何か: 人道主義の歴史と普遍化の過程 第十三回 : 現代社会の人道危機と人道支援~その課題とジレンマ、UNPKOetc. 第十四回 : 国際社会で生きる作法とは: 相互理解、相互扶助の理念と共生 第十五回 : 試験(またはレポート、小論文)</p>				
成績評価方法	試験又はレポート(もしくは小論文)並びに出席状況を総合して評価。			
テキスト	・資料: What to know about our world「Global Study 資料集」(*学生に配布)			
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・「新版 国際関係」家正治編(世界思想社) ・「国際関係学(新版)」原彬久編(有斐閣) *その他の参考文献は、その都度紹介する。			
履修にあたっての留意点	・テキストは熟読すること。授業における発表、発言を重視するので、常に「考える姿勢」を持ち授業に臨むこと。日本赤十字社、ICRC等のホームページ、新聞等の国際情勢欄には目を通すこと。			
備考	参照先 URL: ・担当教員への質疑、連絡は、inoue@rcakita.ac.jp まで。			